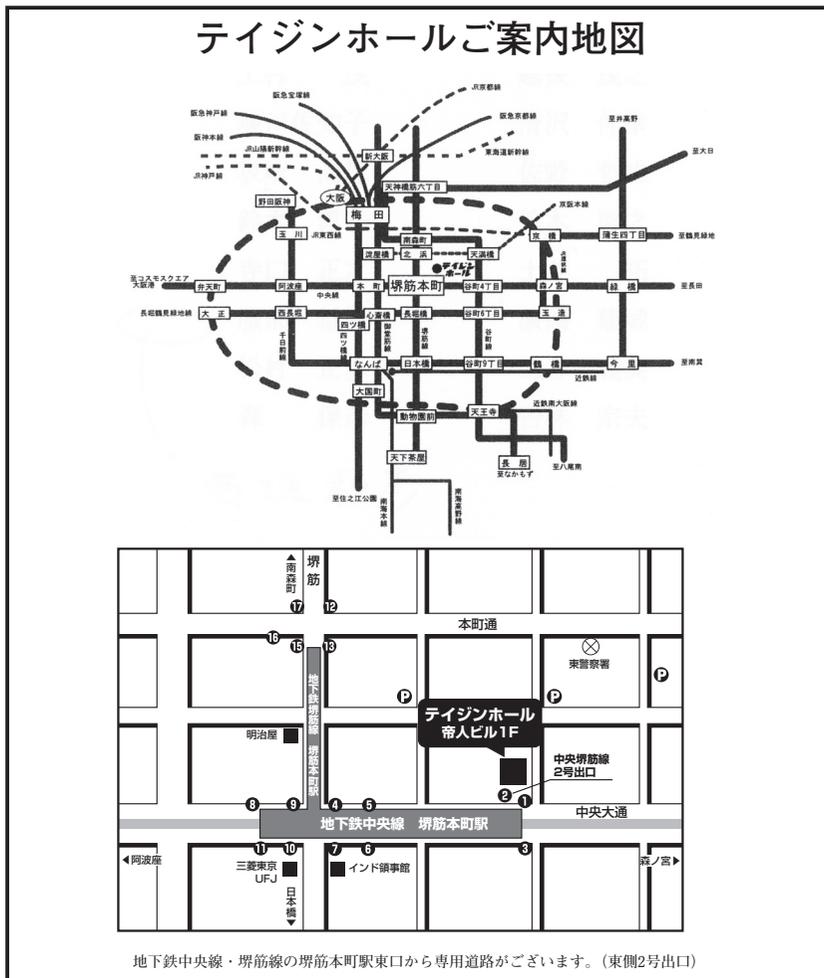


第38回 近畿川崎病研究会

日 時：2014年3月1日(土)
13:00~19:30

会 場：テイジンホール
大阪市中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131



共 催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第 38 回 会長

萱谷 太

運営委員長

濱岡 建城

運営委員

石田 明人	越後 茂之	荻野廣太郎	片山 博視
萱谷 太	城戸佐知子	清澤 伸幸	小垣 滋豊
米田 正始	坂崎 尚徳	佐野 哲也	篠原 徹
清水 達雄	白石 淳	鈴木 啓之	津田 悦子
寺口 正之	土井 拓	中川 雅生	西垣 和彦
服部 益治	濱岡 建城	廣田 常夫	深谷 隆
松村 正彦	三谷 義英	水戸守寿洋	三宅 俊治
村上 洋介	山川 勝	吉澤 弘行	吉林 宗夫

特別顧問

川崎 富作

顧問

尾内善四郎 北村惣一郎 横山 達郎

名誉会員

上村 茂 川島 康生 鈴木 淳子 田村 時緒
森 忠三

事務局

京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL 075-251-5832

ホームページ <http://www.kinki-kawasaki.jp/>

E-mail kkjim1981@kinki-kawasaki.jp

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後 1 時です
- (2) 参加費は 1,000 円です
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。
(年会費は 3,000 円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、5 単位となっています。
- (4) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8 単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) ご講演は、PC プレゼンテーションのみとなります。タブレット PC、iPad などでの講演はできません。
- (2) 講演時間は、発表 6 分（討論 4 分）です。
- (3) ご発表予定時間の 1 時間前までに、USB メモリ（ご発表データのみを保存）をホール 1 階「データ受付」にお持ちいただき、受付をお済ませください。
- (4) ご発表内容が動画を含む場合は、必ずご自身の PC 本体でデータをご持参ください。
 - ・会場で用意するコネクタの形状は D-sub15 ピンのみです。
 - ・AC アダプターは必ずお持ちください。
- (5) ご発表データは、Windows、Machintosh ともに Power Point で作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用 OS（データ作成時）は以下のもので作成ください。
 - Windows : X P、Vista、Win-7、Win-8
 - Machintosh : O S X
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。
 - Windows : Power Point 2003、2007、2010、2013 に対応
 - Machintosh : Power Point 2004、2008、2011 に対応
- (8) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (9) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。
例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名：14 近畿.ppt
- (10) 講演終了後、舞台袖において、お預かりした USB メモリおよび PC 本体をご返却いたします。
- (11) 講演内容は、Progress in Medicine 7 月号（ライフ・サイエンス）に記録として掲載いたします。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします

【執筆要領】 400 字原稿用紙で 12 枚以内（図表は別）

【原稿〆切】 2014 年 5 月 1 日（予定）

【問合せ先】 (株) ライフ・サイエンス 日村 昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

開会の挨拶

13:00~13:05

第38回会長 萱谷 太 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科)

セッション I

13:05~13:45

座長 寺口 正之 (中野こども病院)

1. 眼窩蜂窩織炎、耳下腺炎で発症した不全型川崎病の1例

近畿大学医学部 小児科

西 一美 藤田真輔 井上智弘 竹村 司

2. 心室細動で救急搬送された川崎病性右巨大冠動脈瘤完全閉塞に対し、緊急冠動脈内血栓溶解療法を施行し救命し得た1歳男児例

大阪市立総合医療センター 小児循環器内科

中村香絵 村上洋介 佐々木 赳 藤野光洋 平野恭悠

川崎有希 江原英治

大阪市立総合医療センター 小児不整脈科

吉田修一朗 吉田葉子 鈴木嗣敏

3. 血漿交換が奏功した川崎病の1例

和泉市立病院 小児科

寺川由美 菅原祐一 林 絵里 坂東賢二 浅田 稔

村上城子

4. 海外で発症し、帰国直後に急性期川崎病と診断された冠動脈後遺症合併例

三重大学大学院医学系研究科 小児科学

倉井峰弘 三谷義英 澤田博文 大橋啓之 早川豪俊

駒田美弘

国立病院機構三重病院 小児科

中村晴奈 菅 秀

5. 日齢8には解熱していたにもかかわらず瘤形成をきたした1例
—ネオプテリンとペントラキシン3による検討—

大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学

若原良平 新宅治夫

6. 川崎病既往児の長期フォロー中に判明した低コレステロール血症
(家族性低 β リポ蛋白血症)の2例

familial hypo β lipoproteinemia : F H B L

みみはら高砂クリニック 小児科

古川富美枝

阪南医療生協診療所

真鍋 穰

耳原総合病院 小児科

田中 充

7. 当院における川崎病年長発症例の臨床的検討

愛媛県立中央病院 小児科

山本英一 中野威史 渡部竜助 石田也寸志

愛媛大学 小児科

檜垣高史 石井榮一

松山市民病院 小児科

小西恭子

市立宇和島病院 小児科

高橋由博

8. 当院における過去3年間の川崎病93例の検討

大阪赤十字病院 小児科

藤野寿典 高野良彦 林 直子 植村 優 巽 亜子

中道恵里那 新居 敏 安西香織 杉田 亮 竹川麻衣

肥田晋矢 坂本晴子 葭井操雄 住本真一

セッションⅢ

14 : 25 ~ 15 : 15

座長 津田 悦子 (国立循環器病研究センター 小児循環器科)

9. PFAPA 症候群を疑う症例の経過中に発症した川崎病の 1 例

金沢医科大学 小児科

岡本宣浩 高 儀容 玉貫啓太 小栗真人 秋田千里
北岡千佳 岡田直樹 中村常之 犀川 太

10. 好中球減少症と川崎病症状顕在化の関連 : 2 症例の経験から

金沢医科大学 小児科

土岐 真 高 儀容 玉貫啓太 小栗真人 秋田千里
北岡千佳 岡田直樹 中村常之 犀川 太

11. 川崎病急性期におけるマトリックスメタロプロテアーゼ-3(MMP-3)と 関節症状との関連性

和歌山県立医科大学 小児科

末永智浩 鈴木啓之 垣本信幸 佐藤 匡 武内 崇
吉川徳茂

社会保険紀南病院 小児科

渋田昌一

12. 2D Speckle tracking 法による川崎病既往患者の局所心筋拡張障害の 評価

国立循環器病研究センター 小児循環器科

羽山陽介 津田悦子 石塚 潤 星野真介 辻井信之
佐々木理 海老島宏典 根岸 潤 阿部忠朗 黒寄健一
山田 修 白石 公

13. MR 冠動脈画像および MR 心筋造影による川崎病冠動脈障害例の 経過観察

八重洲クリニック

鈴木淳子 林 慈明 飯山利健 原 定剛 小野英夫

【特別講演 I】

15 : 15～16 : 05

座長 小垣 滋豊 (大阪大学 小児科)

「川崎病の遺伝背景解明にむけて 一成果と課題一」

千葉大学大学院医学研究院 公衆衛生学 尾内 善広 先生

コーヒーブレイク

16 : 05～16 : 20

事務局報告

16 : 20～16 : 25

運営委員長 濱岡 建城 (京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科)

セッションIV

16 : 25～17 : 05

座長 片山 博視 (大阪医科大学 小児科)

14. IVIG 不応低危険群に対するヘパリンナトリウム使用の治療成績

大阪厚生年金病院 小児科

泉井雅史 佐野哲也

15. 当院におけるウリナスタチンを併用した川崎病急性期治療の検討

近畿大学医学部 小児科

丸谷 怜 井上智弘 篠原 徹 竹村 司

16. 川崎病の初期治療におけるステロイドパルス・免疫グロブリン併用症例の検討

中野こども病院

赤川翔平 副島和彦 木野仁郎 保坂泰介 石井紘介

笠原道雄 寺口正之 村上貴孝 圀府寺美 木野 稔

17. Infliximab 投与を必要とした難治性川崎病 24 症例（うち 1 歳未満 8 例）
の急性期・中期遠隔期成績について

九州厚生年金病院 循環器小児科

竹中 聡 宗内 淳 長友雄作 杉谷雄一郎 倉岡彩子
渡邊まみ江

九州厚生年金病院 小児科

岡本友樹 寺師英子 城尾正彦 高橋保彦

九州厚生年金病院 特別顧問

城尾邦隆

【特別講演Ⅱ】 17:05～17:55

座長 萱谷 太（大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科）

「インフリキシマブと血漿交換が追加治療の両翼を担う、
重症川崎病に対する段階的治療法の実際」

横浜市立大学附属病院 小児科 鉾崎 竜範 先生

【シンポジウム】 17:55～19:15

「川崎病急性期治療ガイドライン（H24 改訂版）発表後の
治療の実際」

座長 荻野 廣太郎（関西医科大学 小児科）

座長 坂崎 尚徳（兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科）

S1. 超大量免疫グロブリン療法の時代の冠動脈後遺症合併例の急性期治療
：三重県での経験

三重大学大学院医学系研究科 小児科学

大槻祥一郎 三谷義英 澤田博文 大橋啓之 早川豪俊

駒田美弘

S2. IVIG 不応予測川崎病に対する IVIG+ステロイドパルス併用療法の効果と問題点

大阪厚生年金病院 小児科

佐野哲也 泉井雅史

大阪警察病院 小児科

西垣敏紀

大阪大学大学院 小児科

高橋邦彦 小垣滋豊

市立池田病院

新谷 研 牧 一郎

市立伊丹病院

藪田玲子 三木和典

市立堺病院

石井 円

市立吹田市民病院 小児科

田中一樹 松崎香士

兵庫県立西宮病院 小児科

安部次郎

箕面市立病院 小児科

杉辺英世 山本威久

大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科

原 純一

大阪川崎病治療研究グループ

S3. 重症川崎病に対する血漿交換療法施行の現状

兵庫県立塚口病院 小児救急集中治療科

高原賢守 山上雄司 大西 聡 大場彦明 菅 健敬

中條 悟

S4. infliximab 不応例の検討とその対応

九州大学病院 小児科

鶴池 清 中島康貴 平田悠一郎 永田 弾 森鼻栄治

山村健一郎 原 寿郎

S5. 重症川崎病の治療戦略 –シクロスポリンAの有用性と課題–

和歌山県立医科大学 小児科

鈴木啓之 垣本信幸 末永智浩 武内 崇 吉川徳茂

社会保険紀南病院 小児科

洪田昌一

東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

濱田洋通 寺井 勝

千葉大学 小児科

江畑亮太

千葉大学 臨床治験部

花岡英紀

千葉大学 公衆衛生学

尾内善広 羽田 明

閉会の挨拶

19 : 15 ~ 19 : 30

第 38 回会長 萱谷 太 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科)

第 39 回会長 片山博視 (大阪医科大学 小児科)

帝人ファーマ株式会社

近畿川崎病研究会会則

2013年3月改訂

1. 名称
近畿川崎病研究会（The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research）と称す。
2. 目的
川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。
3. 事業
 - 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する。その内容は、広く公表することを原則とする。
 - 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
 - 3) 本事業は、帝人ファーマ株式会社との共催とする。
4. 運営委員会
 - 1) 本会に次の役員を置く。
 - ①運営委員長 1名
 - ②運営委員 若干名
 - ③会計 1名
 - ④監事 1名
 - ⑤顧問
 - ⑥特別顧問
 - ⑦名誉会員
 - 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
 - 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任をさまたげない。
 - 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末（3月）をもって退任とする。
 - 5) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
 - 6) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
 - 7) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
 - 8) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
 - 9) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
 - 10) 名誉会員は運営委員長が運営委員会にはかり、推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
 - 11) 顧問は運営委員長が運営委員会にはかり名誉会員の中から会の運営上必要と認めたとし、運営委員会に出席できる。
 - 12) 川崎病に関して広い知見をもつものを特別顧問としておく。特別顧問は、本会の運営等について助言をすることができ、任命は、運営委員長が運営委員会に諮り行うこととする。
5. 会員
 - 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
 - 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。
6. 学術集会の発表者の制限
学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。
7. 会計
 - 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
 - 2) 年会費は3,000円/人、参加費は1,000円/人とする。
 - 3) 名誉会員、顧問および特別顧問は年会費を要しない。
8. 会則の変更
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。
9. 事務局
本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。
京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465



血漿分画製剤 特定生物由来製品 処方せん医薬品^注

献血 静注用人免疫グロブリン製剤

献血ベニロン-I[®]

(乾燥スルホ化人免疫グロブリン)

生物学的製剤基準

薬価基準収載

注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

静注用 500mg
静注用 1000mg
静注用 2500mg
静注用 5000mg

「効能・効果」「用法・用量」「禁忌(原則禁忌を含む)」「使用上の注意」等については、製品添付文書をご参照ください。

販売 **TEIJIN** 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
資料請求先: 帝人ファーマ(株) 学術情報部



製造販売 **化血研** 化学及血清療法研究所

〒860-8568 熊本県大正一丁目6番1号
資料請求先: 営業管理部 学術第1課

VEN906(MP)1004 2010年6月作成



粘膜付着型鼻過敏症治療剤

薬価基準収載

処方せん医薬品^注

リノコート[®] パウダースプレー鼻用 25 μ g

Rhinocort[®] Powder Spray 25 μ g (ベクロメタゾンプロピオン酸エステル製剤)

効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〔資料請求先〕 学術情報部

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1

RCM802 (AU) 1002改1 2010年3月